

議決権行使レポート

証券コード 7955

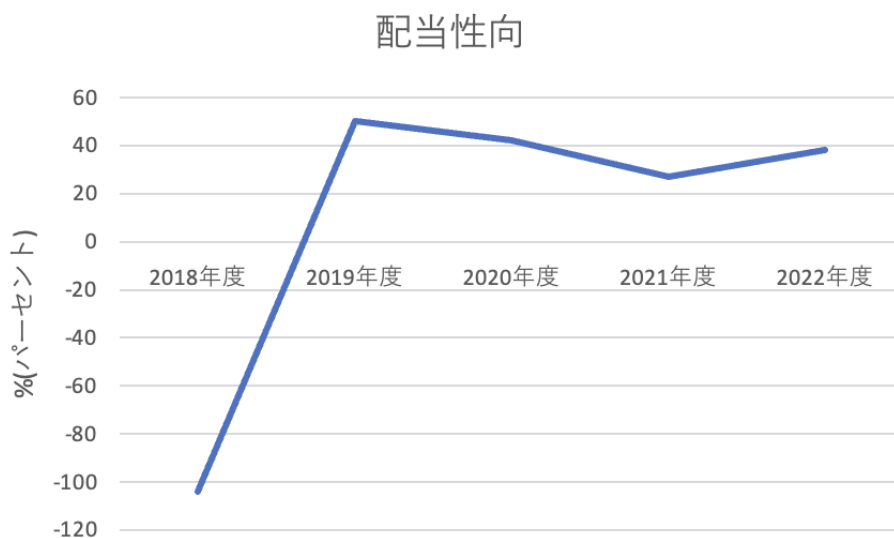
会社名 クリナップ

	賛成	反対	棄権
第1号議案 剰余金処分の件	○		
第2号議案 監査役3名選任の件			
山根 康正氏	○		
新谷 謙一氏	○		
高品 彰氏	○		
第3号議案 補欠監査役1名選任の件			
有賀 文信氏	○		

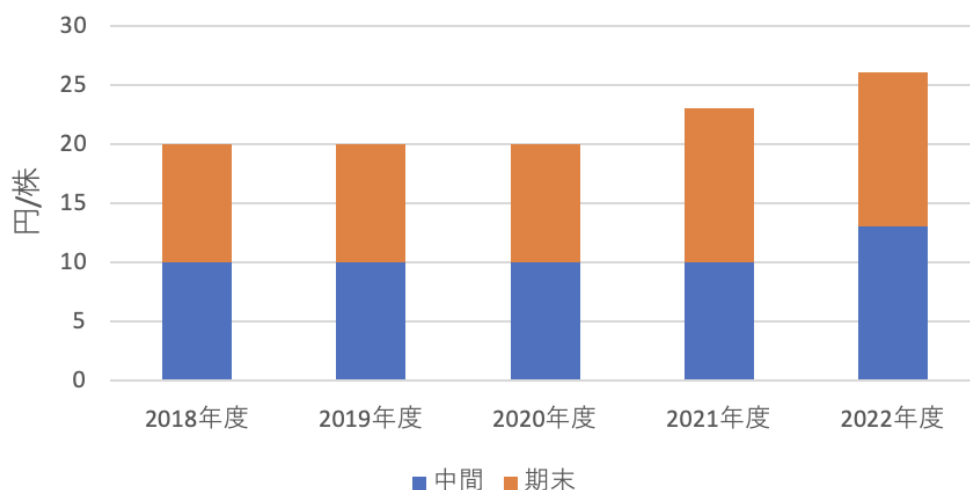
上記の推奨をした理由

【第1号議案について】

米国のインスティテューショナル・シェアホルダー・サービシーズ（以下ISS）によると、「配当性向が15%から100%の場合、通常は賛成を推奨する」とされている。クリナップの配当性向を見ると、2019年度から2022年度においてこの基準を満たしているため、この議案について賛成する。ただし、2018年度においては配当性向が-103.9%と低い値となっており、この点において懸念は残る。これは当期純利益が大幅にマイナスとなっていることに起因する。しかし、2018年度の配当金額を見ると、比較的配当性向の高い2019年度と変わらない金額となっている。このことから、クリナップは経営が厳しい状況でも株主に対する還元を行ってくれるものと推測できるので、最終的に賛成すべきと判断した。



配当金の状況



【第2号議案について】

・山根 康正氏

山根氏の監査役就任に賛成する。

山根氏は入社してから50年近く財務に携わっており、会社に関する知見を相当量有していると判断した。その豊富な知識や経験から、監査役として適任である。

・新谷 謙一氏

新谷氏の監査役就任に賛成する。

新谷氏は弁護士の資格を保有している。企業法務に精通しているため、法的な視点からその幅広い知見を監査の遂行に活かせるものと考えられる。かつ、ISSの示す独立性基準を満たし、取締役会および監査役会の出席率もISSが基準として定めている75%を上回っている。これら全てを鑑みても、新谷氏は社外監査役として適任であると判断した。

・高品 彰氏

高品氏の監査役就任に賛成する。

高品氏は公認会計士の資格を有しており、会計・税務に精通している。幅広い知見を有していることから、社外監査役として適切な人材であると判断した。かつ、ISSの示す独立性基準を満たし、取締役会および監査役会の出席率もISSが基準として定めている75%を上回っている。

【第3号議案について】

・有賀 文宣氏

有賀氏の補欠監査役就任に賛成する。

有賀氏は税理士の資格を保有しており、会計・税務に精通している。過去には税務署長を務めるなど、その豊富な経験を活かして監査を遂行できるため、適任であると判断した。

以上